

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成25年2月6日

上場会社名 古河電気工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5801 URL http://www.furukawa.co.jp/
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)柴田 光義
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画室IR・広報ユニット長 (氏名)鈴木 治 (TEL) 03(3286)3050
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	667,856	△3.6	13,133	13.8	12,348	25.2	4,126	—
24年3月期第3四半期	692,899	0.9	11,543	△56.6	9,866	△57.9	△14,784	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 5,278百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △26,400百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	5.84	—
24年3月期第3四半期	△20.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	797,260	202,392	18.6
24年3月期	790,114	197,569	18.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 148,135百万円 24年3月期 144,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.50	—	0.00	2.50
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	950,000	3.4	20,000	25.4	17,500	35.9	2,000	—	2.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料P.2「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期3Q	706,669,179株	24年3月期	706,669,179株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	594,354株	24年3月期	590,431株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期3Q	706,075,881株	24年3月期3Q	706,085,533株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の信用不安や米国の景気低迷に若干の改善傾向が見られ、米国のいわゆる「財政の崖」問題も回避されたものの、2012年の中国の経済成長率は8%割れが確実となるなど、新興国の減速が明らかになってきており、先行きには慎重な見方が大勢を占めています。

日本経済は、昨年12月の政権交代による経済政策への期待から円安が進みましたが、中国との外交関係において緊張が続いていることや、またエレクトロニクス関連ではスマートフォン需要に減速感が出てきていることなど、実需面では厳しい状況にあります。

このような状況の下で、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）の当第3四半期連結累計期間の業績は、自動車用ワイヤーハーネスの需要回復やLED液晶テレビ向け反射板の生産効率改善などがあったものの、エレクトロニクス関連の銅・アルミ加工製品需要が低迷したことに加え、中国の電力ケーブルや国内光ファイバ・ケーブルの競争激化などにより、売上高は6,679億円（前年同期比3.6%減）、営業利益は131億円（前年同期比16億円の増加）、経常利益は123億円（前年同期比25億円の増加）となりました。また、前年同期には米国反トラスト法違反による罰課金153億円を特別損失に計上していたこともあり、四半期純利益は前年同期比で改善し、41億円（前年同期比189億円の増加）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,973億円（前連結会計年度末比71億円の増加）となりました。前連結会計年度末比で、仕掛品等のたな卸資産が129億円増加し、受取手形及び売掛金は69億円減少しました。

負債の部では、有利子負債の増加が123億円ありました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,024億円（前連結会計年度末比48億円の増加）となりました。四半期純利益41億円等により利益剰余金が42億円増加し、自己資本比率は18.6%（0.3ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）通期の連結業績につきましては、平成24年11月1日に公表した予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

なお、これに伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,246	31,263
受取手形及び売掛金	221,998	215,126
有価証券	113	17
商品及び製品	28,071	31,611
仕掛品	28,609	33,354
原材料及び貯蔵品	38,207	42,824
繰延税金資産	6,732	4,290
その他	34,013	34,894
貸倒引当金	△896	△995
流動資産合計	390,096	392,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	252,843	256,169
機械装置及び運搬具	637,864	642,398
工具、器具及び備品	81,433	82,929
土地	84,937	84,565
その他	12,511	22,694
減価償却累計額	△807,464	△822,822
有形固定資産合計	262,125	265,935
無形固定資産		
のれん	6,178	5,114
その他	7,796	7,313
無形固定資産合計	13,975	12,428
投資その他の資産		
投資有価証券	92,568	95,115
繰延税金資産	10,680	11,442
その他	23,136	22,418
貸倒引当金	△2,468	△2,466
投資その他の資産合計	123,917	126,510
固定資産合計	400,018	404,873
資産合計	790,114	797,260

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	122,000	124,426
短期借入金	141,857	129,099
コマーシャル・ペーパー	—	42,000
1年内償還予定の社債	16,562	433
未払法人税等	1,116	1,793
製品補償引当金	1,586	1,195
災害損失引当金	261	203
その他	62,320	52,791
流動負債合計	345,705	351,943
固定負債		
社債	22,547	32,391
長期借入金	144,253	133,574
退職給付引当金	57,566	53,735
環境対策引当金	12,140	12,070
資産除去債務	1,214	1,216
その他	9,117	9,937
固定負債合計	246,839	242,924
負債合計	592,545	594,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,395	69,395
資本剰余金	21,467	21,467
利益剰余金	72,481	76,674
自己株式	△274	△274
株主資本合計	163,070	167,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,548	11,359
繰延ヘッジ損益	589	522
在外子会社退職給付に係る調整額	△4,057	△4,051
為替換算調整勘定	△26,457	△26,958
その他の包括利益累計額合計	△18,376	△19,127
少数株主持分	52,874	54,257
純資産合計	197,569	202,392
負債純資産合計	790,114	797,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	692,899	667,856
売上原価	593,945	566,861
売上総利益	98,954	100,994
販売費及び一般管理費		
販売費	26,796	26,643
一般管理費	60,614	61,217
販売費及び一般管理費合計	87,410	87,861
営業利益	11,543	13,133
営業外収益		
受取利息	477	521
受取配当金	1,431	1,149
為替差益	—	968
持分法による投資利益	797	740
その他	1,493	1,178
営業外収益合計	4,200	4,558
営業外費用		
支払利息	3,962	3,838
為替差損	275	—
その他	1,640	1,506
営業外費用合計	5,877	5,344
経常利益	9,866	12,348
特別利益		
投資有価証券売却益	5,428	3
貸倒引当金戻入額	242	212
抱合せ株式消滅差益	—	166
その他	182	417
特別利益合計	5,853	799
特別損失		
固定資産処分損	538	563
減損損失	1,907	280
事業構造改革費用	836	409
米国反トラスト法違反罰課金	15,296	—
その他	1,901	1,559
特別損失合計	20,481	2,812
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,761	10,334
法人税、住民税及び事業税	3,500	2,898
法人税等調整額	5,050	1,733
法人税等合計	8,550	4,631
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△13,311	5,702
少数株主利益	1,472	1,576
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△14,784	4,126

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△13,311	5,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,706	△126
繰延ヘッジ損益	△1,438	168
在外子会社退職給付に係る調整額	214	7
為替換算調整勘定	△4,754	△297
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,404	△175
その他の包括利益合計	△13,088	△424
四半期包括利益	△26,400	5,278
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,695	3,397
少数株主に係る四半期包括利益	295	1,881

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	情報通信	エネルギー・産業 機材	電装・エ レクトロ ニクス	金属	軽金属	サービス 等	計		
売上高									
外部顧客への売上高	103,063	180,330	149,224	107,865	142,860	9,554	692,899	—	692,899
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,427	27,605	5,951	3,313	4,476	17,449	63,223	△63,223	—
計	107,491	207,936	155,176	111,179	147,337	27,003	756,123	△63,223	692,899
セグメント利益又は損 失(△)	2,858	△806	2,446	373	5,286	1,295	11,454	89	11,543

(注) 1 セグメント利益の調整額89百万円には、主に未実現利益の消去等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 会計方針の変更等

第1四半期連結会計期間から、連結子会社である古河マグネットワイヤ㈱は、機械装置の減価償却方法を従来の定率法から定額法へと変更しました。この変更は巻線事業の事業統合を契機に、機械装置の稼働状況等を見直した結果、巻線に対する将来の需要は安定的であることが見込まれること、当該機械装置も長期かつ安定的に使用されると見込まれること、さらには修繕費等の維持管理費用も過去実績を鑑みると安定的な発生が見込まれることから、より合理的な費用配分に基づく適正な期間損益計算を行うために実施したものです。

これにより、従来の方法によった場合と比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、「電装・エレクトロニクス」で266百万円増加しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	情報通信	エネルギー・産業 機材	電装・エ レクトロ ニクス	金属	軽金属	サービス 等	計		
売上高									
外部顧客への売上高	93,892	168,406	172,583	88,142	134,623	10,207	667,856	—	667,856
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,872	28,200	4,936	3,350	3,382	17,545	61,287	△61,287	—
計	97,765	196,607	177,519	91,492	138,006	27,753	729,144	△61,287	667,856
セグメント利益又は損 失(△)	801	2,355	7,110	△930	2,913	936	13,186	△52	13,133

(注) 1 セグメント利益の調整額△52百万円には、主に未実現利益の消去等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。